

◆ 編集後記 ◆

若葉の季節が過ぎ、夏めいてきますと、冷えたメロンが美味しいですね！

ご存知の通り、茨城県は、メロンの出荷量が日本一です。そのせいか、一部の地域では、丸々1個のメロンを横一文字に二つ割りして、贅沢にスプーンですくって召し上がる方も珍しくないとか…。出荷量日本一ならではの、なんともリッチな食しかたと言えるかもしれません。

お話が少々それましたが、毎号の「行政いばらき」の編集作業も、改めてフレッシュな気持ちで、皆様へ情報をお届けできる感動と、ご協力下さる方々への感謝をもって取り組んで参りたいと存じます。

今後とも何卒ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

(広報・監察部 石神 敦子)

隔月・奇数月発行

発行所 〒310-0852 水戸市笠原町978番25
茨城県開発公社ビル5階

茨城県行政書士会

TEL (029) 305-3731
FAX (029) 305-3732

発行者	会	長	國井	豊
編集	担当	副会長	嶋田	広一
	広報・監察部		遠藤	実
			坂本	淳子
			石神	敦子

印刷所 コトブキ印刷株式会社

守ります。エコの知識。

エコフロンティアかさまでは、環境学習の発信拠点として
楽しく学べる施設を併設しています。

施設2階の展示室では、環境学習を考える「エコ・フェスタ」を開催しています。フェスタ(祭)をイメージした楽しい空間の中で、大地君とグローブ博士がわかりやすくナビゲートします。
見て・聞いて・触って、児童から大人まで、展示を通してエコの知識を得られます。

エコステーション ～環境学習フロア～

地球パビリオン

地球と人類の歴史をたどりながら、暮らしとごみの関わりや、現在直面している環境問題を考える展示のメインパビリオン。実物大のゴミクレーンを天井に設置しています。



"資源ごみウォール"で囲まれた中央ホールで導入映像が展開されます。導入ストーリー▶「地球46億年の歴史の中で、ごく近年に登場した人類が加速的に地球資源を使い、大量のごみを出して自然や地球環境を激変させてしまった！このままでは大変。私たちにできることは…？」

冒険ストーリー

グローブ博士や大地君とともに、古今東西さまざまな地域をめぐる、ごみや環境に関する疑問や課題を見つけていきます。



フィードバックストーリー

冒険ストーリーで生じた疑問や課題を解決していくためのヒントや情報を、私たちの暮らしと照らし合わせながら紹介します。



チャレンジ！ごみ収集

ゲームを通して、ごみ収集車の仕組みを知ることができます。



環境学習コーナー

地球パビリオンの周囲におかれた体験アイテム。私たちの生活シーンと結びつけながら、生活環境のためにできることを考えます。体験展示を通して実生活での行動・実践につなげます。



展望デッキ

エコフロンティアかさまの処分場を一望できます。



施設概要

管理型最終処分場

用地面積…28.6ha・埋立地面積…9.8ha

埋立容量 約240万m³

焼却・熔融処理施設

処分能力…145t/日(72.5t/日×2炉)

処理方式…高温ガス化直接熔融方式

付帯施設…蒸気タービン発電施設(7,200kw×1基)

一般財団法人 茨城県環境保全事業団

〒309-1603 茨城県笠間市福田165番地1 Tel.0296-70-2511/Fax.0296-70-2515

ホームページ▶<http://ef-kasama.or.jp/> エコフロンティアかさま

検索